

 道の駅 るもい

2022年(令和4年)
春OPEN予定!

屋内交流・遊戯施設(仮称)外観イメージ

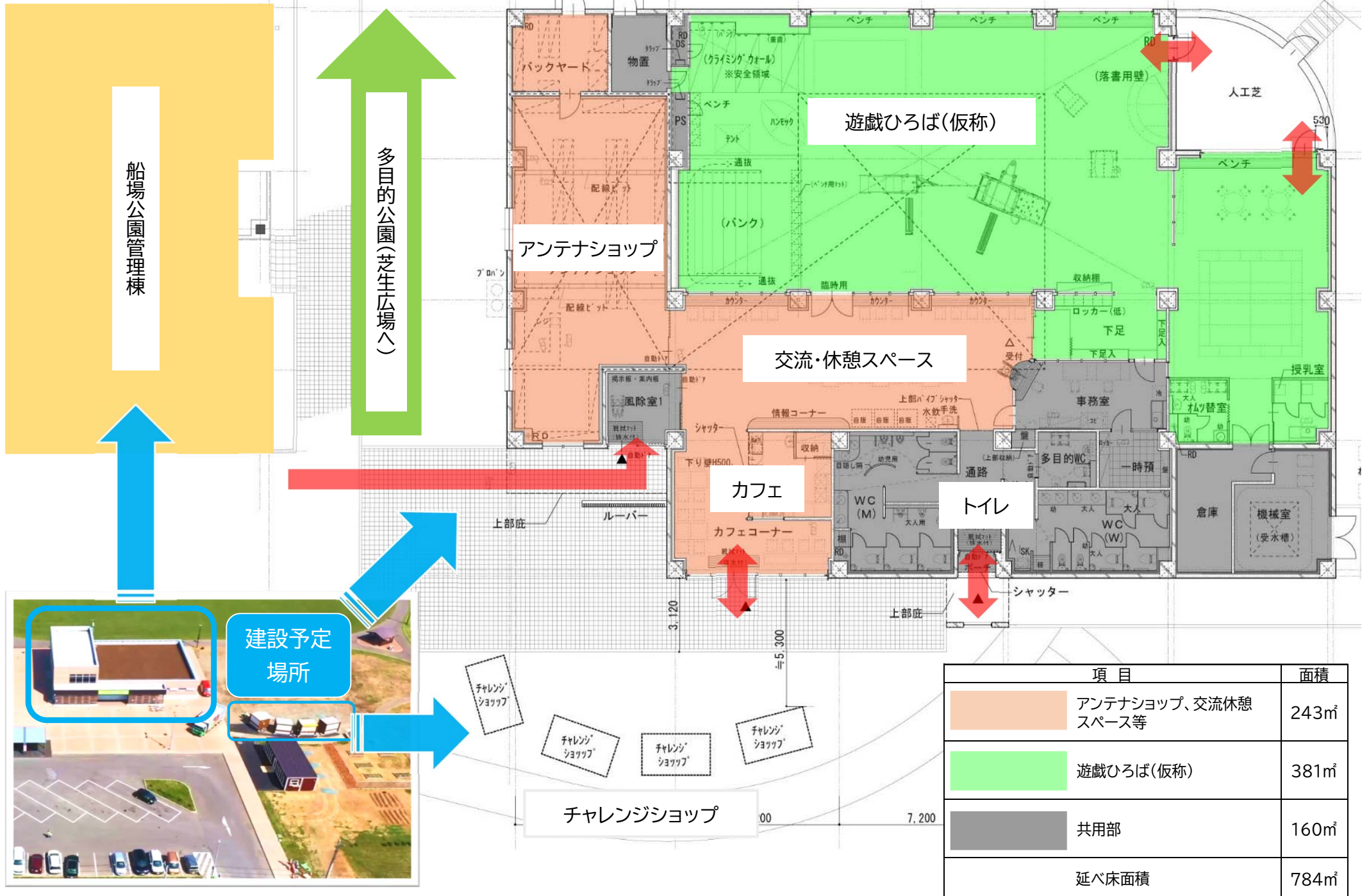


※外観イメージは変更となる場合があります。

【施設のコンセプト】

親子や家族で時間を過ごせるくつろぎの「空間」と、
地域特産品等の「魅力」を発信する
道の駅の新たな「交流拠点」

【施設配置イメージ】



【施設内：交流休憩スペースのイメージ】



【施設内：遊戯ひろば(仮称)のイメージ】

アクティブゾーン

・木製バンクやクライミングウォールのほか、様々な遊びができる複合遊具をメインに「はねる・登る・滑る」など体を動かすものや子どもの豊かな想像力につながる遊具を設置。

木製バンク

クライミングウォール

エアトラック

・子どもを見守ることができるよう遊具周辺に保護者の休憩スペース(ベンチ)を設置。

・保護者が幼児と遊びながら上の子を見守れるようベビーコーナーはひろばの中央に設置。

ベビーコーナー

複合遊具

プレイハウス等の設置によるベビーコーナーとのゾーン分け

「遊戯ひろば(仮称)」の機能

施設のコンセプトである「親子や家族連れをターゲットとした、遊びの空間の創出」に向け、保護者が安心して見守りながら、幼児から小学生までの子どもたちが、家で遊ぶことのできない遊具などを使って自由に体を動かし、

- ①「バランス感覚を育む」
- ②「体力を育む」
- ③「想像力を育む」
- ④「安全・安心に遊ぶ」

この4つの視点で遊びを楽しむ空間づくりを行っていきます。

クリエイティブゾーン

・大型ブロックなど、その場にある材料を使い想像力を養うことができる遊具を設置。

大型ブロック

※遊具はイメージです